

草津市都市計画審議会および草津市都市計画審議会協議会の

結果について

1. 開催日時 平成29年12月20日（水）
午前10時10分～午後0時15分
2. 開催場所 草津市役所2階 特大会議室
3. 審議案件
議第1号 草津市景観計画の変更について（景観形成重点地区の指定）
4. 協議案件
協議事項1 草津市立地適正化計画、草津市版地域再生計画、草津市地域公共交通網形成計画の策定について（中間報告）

5. 出席委員数 14名中10名

6. 開会の挨拶〔山本都市計画部長〕

本日は、御多用のところ、草津市都市計画審議会に御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の審議議案につきましては、草津市景観計画の変更についてでございます。また、協議会の協議事項としましては、草津市立地適正化計画、草津市版地域再生計画、草津市地域公共交通網形成計画の策定につきまして本日は中間報告ということで報告をさせていただきたいと思っております。

御審議、御意見等賜りますようよろしくお願いを申し上げます、簡単ではございますが御挨拶とさせていただきます。

7. 審議経過のうち主な発言の内容

- (1) 議題1号

- 景観形成重点地区の色彩基準が緩い印象を受けます。どの重点地区も全て同じ色彩基準になっており、例えば、赤系、緑系および黄緑系が1階部分や2階部分に使われると、違和感のあるまちなみになるのではないかと思います。色彩基準については、3階以上に明度の明るい基準や彩度の低い色を用いるのではなく、2階以上にしたほうがいいのではないかと思います。

→ 外壁には木材や漆喰、屋根には瓦などの自然素材を用いるという基準を設けております。明度の高い色の自然素材を使用されることは少ないことから、素材を指導する中で色彩をコントロールしていくことを考えております。また、以前から2階建てで壁面をそろえてきたという家が多くあり、2階までについてははっきりした色を認めるということで今回の基準になっております。

○ まちの賑わいを創出する景観づくりということが方針で示されていますが、賑わいをどのようなイメージで捉えていますか。

→ 今回指定をする景観形成重点地区においては、空き商店や空き家が増えてきている状況ですが、駅に近いことや商業地域で容積率が400%であることから、共同住宅など住宅の用途に使われることが多くなってきています。このような状況の中で、統一感を持ったまちなみを維持し、景観を守り、住みよいまちづくりを行うことにより、新しい住民の方に住んでいただくことで賑わいを増やしていきたいと考えています。

(2) 協議事項1

○ 山田学区や常盤学区のように3割以上の人口減少が見込まれる地域もあることから、特に草津市版地域再生計画による取り組みについては、早急に進めていただきたいと思っております。

→ 既に、山田学区や常盤学区につきましては、まちづくり協議会とともに新たなプロジェクトチーム等を作るという考えのもと進めております。他の学区におきましても、山田学区や常盤学区でどのように議論をされていくのかを参考にしながら進めていきたいという意見をいただいております。市街化区域、市街化調整区域ともに人口は減少していきませんが、減少速度を少しでも遅らせて地域コミュニティの維持を図れたらと考えております。

○ 草津市立地適正化計画における誘導施設について、医療施設や福祉施設を除く理由を詳しく教えてほしいです。

→ 高齢者の住み慣れた地域での生活を前提とした「地域包括ケアシステム」の考え方を踏まえると、医療や介護、介護予防のために必要となる医療施設や福祉施設については、市中心部に集約すべきではないと考えております。

また、本市においては、病院は郊外に立地しており、かつ、都市機能誘導区域の設定を検討している駅周辺に、医療・福祉機能が立地可能な空き地がない状況です。

以上のことから、医療施設と福祉施設は誘導施設として位置付けませんが、草津市地域公共交通網形成計画により、市内各地から医療・福祉施設へのアクセス性を高められるよう、交通ネットワークの充実を図っていきます。

- 草津市版地域再生計画の取組みにより、高齢化の進行を現状維持もしくは抑制していくことになりますか。
 - 人口構造の状況からすると高齢化の進行の抑制は限界があります。草津市版地域再生計画では、高齢化が進む将来においても必要な生活サービスが充足され、各地域で一定の利便性が確保できるよう取組みを進めていきたいと考えております。

- 草津市地域公共交通網形成計画については、バスを中心に公共交通網を形成する方針に思えます。バスについては、これまでまめバス事業にも取り組んでおられますが、今回の計画において、何か新しく考えておられる施策はありますか。
 - 草津市地域公共交通網形成計画を策定するに当たり、草津市版地域再生計画との連携を重要視しながら施策を考えていきます。具体的な施策については、検討段階でございますが、デマンドタクシーのような交通手段を考えております。

- 草津市地域公共交通網形成計画においては、路線バスの充実の他にも、自転車の駐輪スペースの確保やレンタルサイクルの導入など、自転車を使った政策も考えていただきたいです。